

加東市の観光

加茂祐樹・三輪一喜・大土紗苗・山台健太

キーワード：観光，土地，経済，情報活用，観光協会の三本柱

1. はじめに

2020年に流行した新型コロナウイルスの影響により、日本では2020年に開催される予定であった東京オリンピックが1年の延期になった。経済の面で日本はもちろん、世界中で苦しい年となった。そこで、経済的打撃を受けた産業の1つである観光産業に着目し、観光事業は地域にどのような影響を及ぼしているか疑問が生まれた。

上記の疑問から、兵庫県加東市ではどのような観光地があるのか、観光地やその経済活動の特色にはどのようなものがあるかを明らかにすることとした。そうすることで、加東市だけではなく、他地域の観光地周辺に与えている影響、観光的価値を見出せることを目指す。

今回のテーマにおいて、加東市の経済規模は神戸市や姫路市に比べ、経済規模は小さいが、遊戯施設を含む多様な観光地や施設が存在する。それは、加東市の位置や交通が関係しているのではないかという仮説を立てた。

事前調査では、加東市は兵庫県中央部のやや南に位置しており、車で1時間ほどであり、都市である神戸市や姫路市、大阪府等へアクセスできることが分かった。これは、中国縦貫自動車道(大阪府吹田市ー山口県下関市)や国道175号(兵庫県明石市ー京都府舞鶴市)、国道372号(京都府亀岡市ー兵庫県姫路市)等の主要道路が加東市を通過しているからである。また、加東市の観光名所の1つである東条湖おもちゃ王国は、中国縦貫自動車道ひょうご東条インターより約10分の距離であり、交通の便が良いことが分かった。

2. 調査結果

(1) 加東市の概要

加東市は2006年3月20日に加東郡社町、滝野町、東条町の3町が合併し発足した。北播磨地域に所属し、兵庫県中央部やや南に位置している。総面積は157.55㎢であり、欧州のリヒテンシュタインとほぼ同じ面積である。人口は17,315世帯で40,214人であり、一世帯あたりの人数は約2.3人である。

気候は瀬戸内型気候であり、1年を通して比較的温暖である。気候における最大の特徴は昼夜の気温差であり、この特徴が名産品である山田錦の生産を支えている。

交通では主要道路として国道175号線と国道372号線が通っている。前者は加東市を大きく南北に通過しており、南は兵庫県明石市、北は京都府舞鶴市に続いている。後者は東西に続く国道であり、東は京都府亀岡市、西は兵庫県姫路市に続いている。高速道路は中国縦貫自動車道が通っており、滝野社ICとひょうご東条ICの2つのインターチェンジが高速道路の玄関口となっている。鉄道面ではJR西日本の路線である加古川線が通過しており、加東市内には社町駅、滝野駅、滝駅の3つの駅が存在している。



図1 加東市の主要観光地
出所：地理院地図より作成

(2) 自然的観光地

加東市における自然的観光地の代表として関竜灘について述べる。所在地は兵庫県加東市上滝野 283。関竜灘は兵庫県を流れる一級河川である加古川の中流にある名勝である。川底にある奇岩・怪岩が景観を作り出している。『関竜灘』という名称は激しい川の流れが岩を飛び越える様子が、竜が飛び跳ねて闘う様に似ていることに由来している。関竜灘の持つ観光地としての特性に景勝の他に鮎漁が存在する。関竜灘では毎年5月1日に全国で最も早く鮎漁が解禁される。これにより鮎釣りを目的とした観光客が多数訪れている。

関竜灘の交通アクセスは自動車では中国縦貫自動車道滝野社 IC より 5 分、無料駐車場 50 台が有る。電車では JR 加古川線で「滝駅」にて下車，そこから徒歩 5 分。バスでは神姫バスの三宮・西脇線のバス停「滝」にて下車，そこから徒歩 2 分である。以上のように関竜灘の交通アクセスは良い方であると考えられる。観光客のアクセスの手段の多くは自家用車であり，その手段を選択した理由のほとんどは多くの釣具の持ち運びにあたって自家用車が最も運びやすいからである。

関竜灘を訪れる人の多くは近隣の北播磨地域や神戸市など県内の他地域から日帰りで訪れる。ここにも釣り場としての側面が現れており，釣った魚が傷まない間に自宅に持ち帰れるが選択の理由の 1 つとなっている。

(3) 歴史的観光地

加東市の主な歴史的要所は，播州清水寺，上鴨川住吉神社，佐保神社，観音寺，五峰山光明寺，鹿野山朝光寺である。また，これらを含む歴史的・文化的な要地への訪問を目的とした観光客数は，2013 年度から 150 人前後で安定している。しかし，現地調査の結果，歴史的・文化的に価値のある建物を観光地として経済的に利用している例は少ないことがわかった。その一例として，写真 1 は，本堂が国宝に登録され，正面参道を滝が流れる朝

光寺がある。朝光寺は、住職の意向から有料化、観光地化はされておらず、周囲にも建物は無い。加東市観光協会によると、寺社は責任者によって有料化や観光地化を望まない場合があり、安易に観光地として活用することは難しいという。また、観光地化には立地的な問題もある。山の中に位置する寺社は、交通アクセスが車しかなく、周囲に住家もないことから、隣接して建物を建てても収益を見込めない。そのため、観光客は訪れても、うまく利益を上げることができない場合が多いのである。

このような現状に際し加東市は、「世界に一つ！加東遺産」というPRを行っている。これは、公募して決定した「加東遺産」について、神戸新聞やSNSを使ってイベントなどの情報を拡散し観光客を集客しようという取り組みである。「加東遺産」の一つである播州清水寺はSNSを使ってPRを行っている観光地の一つである。播州清水寺では、インスタグラムのハッシュタグ機能を活用し、フォトスポットやイベント情報を拡散するなど、若者の集客に向けた取り組みを行っている（写真2）。

以上のことから、加東市における歴史的要素は、その地域の魅力を増やす観光地ではなく、加東市での経済活動を活性化するための資源の一つとして利用されているといえる。



写真1 朝光寺本堂
出所：加東市 HP より引用



写真2 播州清水寺のフォトスポットタグ
出所：筆者撮影（2020年12月19日撮影）

(4) 人工的観光地

加東市における人工的観光地の代表として東条湖おもちゃ王国について述べる。所在地は兵庫県加東市黒谷 1216。敷地面積は 9.9ha であり、甲子園球場約 2 個分の面積である。東条湖おもちゃ王国はサンヨーレジャーグループに所属している株式会社おもちゃ王国が経営するテーマパークである。施設内容としては大きく 3 つの施設がある。見て・触れて・体験できるおもちゃのパビリオン、その他約 20 のアトラクション、大レジャープール「アカプルコ」の 3 施設である。特にアトラクションでは身長・年齢制限があるが、親子同伴であれば 0 歳児でも搭乗可能なものが多数あるという大きな特徴を持ちテーマパークとしてのターゲットを子連れの親子にしぼっていることが窺える。

東条湖おもちゃ王国の交通アクセスは自動車の場合は中国縦貫自動車道のひょうご東条インターより 10 分、有料駐車場 2,000 台。料金は一日 1,000 円である。電車では各出発地点より JR 宝塚線新三田駅を目指す、新三田駅から無料送迎バスが出ており、そこからの所要時間は 30 分である。またタクシーを使用した場合は 6,000 円ほどの料金がかかる。バスでは最寄りのバス停が神姫バスのバス停『天神』から約 2.5km 離れており、そこからの所要時間は徒歩 32 分である。以上から東条湖おもちゃ王国の交通アクセスはやや悪いと判断することができる。ここでアクセスが良いと判断できない理由は自動車や電車を使用すれば交通アクセスは悪くはないが、路線バスを選択することが非現実的であることにある。もちろん自家用車を使用すれば、上記したように最寄りの IC から 10 分と非常に利用しやすい場所にあることに間違いはない。さらに 2018 年 3 月 18 日に新名神高速道路が開通したため特に大阪方面からのアクセスが大きく改善されている。

東条湖おもちゃ王国を訪れる人々は県内の他地域の他に近隣の府県から来る人が多いという。東条湖おもちゃ王国から道路を挟んだ正面にホテルグリーンプラザ東条があるため日帰り旅行客の他に宿泊する旅行客もいる。東条湖おもちゃ王国の HP では宿泊パックを推奨する記載もあり、いわゆる 2 day プランを狙っている。東条湖おもちゃ王国の近隣には多数のゴルフ場があり、複数の親子連れで訪れて父がゴルフ、母子が東条湖おもちゃ王国で遊んで過ごすという旅行を行う家庭も存在しており、東条湖おもちゃ王国のみでなく他の周辺のレジャー施設と関わりながら来場者数を増やしている。

3. 考察

加東市には、神戸市や姫路市と比べて経済規模が小さい割に遊戯施設を含む多様な観光地や施設が存在する。これは、高台で水不足であった加東市を開発する際切り開かれた広大な土地を有効利用するために多くの施設が建設されたからだと検討する。例えば、加東市の中でも東条湖が遊戯施設などの観光施設を多く有するのは、鴨川ダムによって形成された人工湖を有効活用しようとした結果である。

加東市の観光施設へ訪れる観光客は、大阪、神戸などの大都市に加え、中国縦貫自動車道や国道 175 号、国道 372 号等の主要道路を利用し、主に近畿地方のさまざまな場所から訪れている。加東市の現在の観光施設では、大都市からの交通アクセスの良さを生かし、車で訪れることを想定した政策が取られていると検討する。

また、加東市観光協会は、点在する観光施設や歴史的・文化的建物を活用したさらなる集客のため、サイクリングイベントを中心に、加東市の魅力を効果的に活かす政策を計画中である。今後の加東市の観光事業は、レジャー系をメインに、さらに発展していくのではないかと考える。

4. おわりに

今回の調査は、加東市環境協会での聞き取り調査をもとに作成したものである。加東市には、ゴルフ施設などをはじめとした遊戯施設などの観光施設が多数存在する。仮説では、加東市の立地や交通アクセスの良さから、主要な道路が整備されると同時に観光施設も建設され、集客を望んだのではないかと推測した。しかし、観光協会の方によると、そのような事実はなかった。よって、加東市の観光施設が多く存在することと、加東市の交通アクセスの良さは直接的にはかかわっていなかったと考えられる。だが、現在の加東市の観光政策において、中国縦貫自動車道や国道 175 号線、国道 372 線などのほか、主要な道路による交通アクセスの良さが大きなアドバンテージとなっていることは事実である。

加東市では今ある加東の資源を生かすという目線から観光事業に取り組んでおり、様々な地域活性化のためのイベントを開いてきたことで、年々観光客は増加し、特に、車を使った日帰り客の増加は顕著である。今後も、加東市の一員として観光事業の動向を調べていきたい。

参考文献

加東市観光ガイドマップ（2019 年 1 月版）

闘竜灘観光パンフレット（2019 年 3 月版）

参考 URL

加東市公式 HP <https://www.city.kato.lg.jp/index.html> 2020 年 12 月 21 日アクセス。

東条湖おもちゃ王国公式 HP <https://www.omochaoukoku.com/tojoko/> 2020 年 12 月 20 日アクセス。